

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミC	単位認定	1	片山 雅男

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

もりの幼稚園 — 子どもを野外につれ出そう — (自然に触れ合う保育・教育へのすすめ)

1. 自然とのかかわり方の基礎技術を身につけ、自ら行うことができる。
2. 子どもにとっての自然とのさまざまな触れ合いを考えることができる。
3. 子どもたちと自然のインタープリター(仲介役)を行うことができる。
4. 文章の書き方を身に付け、基本的なレポートの作成ができる。

【授業の概要】

春から夏にかけての自然遊びや伝統行事を生かした野外活動を行い、保育への活用を考える。演習を中心に、適宜画像を交えた講義も行なう。天候や季節の状況、授業の進行上、講義順・内容の一部が変更されることがある。講義ならびに適宜アクティブラーニングも行う。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション ゼミ訪問

事前学修課題: 前もってシラバスを読んでおくこと。【0.5 時間】

事後学修課題: このゼミで学びたいことを明らかにしておくこと。【0.5 時間】

2. はじめに 保育における自然の役割。子どもの想いは無限大。

事前学修課題: 保育において自然がどのような役割を果たしているか考えておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 子どもたちと一緒にやってみよう自然の活動を考え、まとめること。【0.5 時間】

3. 春の自然観察 覚えておきたい春の野草。暮らしぶりを見てみよう。

事前学修課題: 身近にみられる春の野草を確認しておくこと。【0.5 時間】

事後学修課題: 観察した野草の特徴をまとめる。【0.5 時間】

4. 端午の節句と植物 菖蒲、ちまきと柏餅。鯉のぼりと武者人形の由来を知る。

事前学修課題: 端午の節句に飾る物、食べる物を調べる。【0.5 時間】

事後学修課題: 飾る物、食べ物の由来をまとめる。【0.5 時間】

5. 春の草花あそび シロツメクサの冠、タンポポの水車。いくつ作れるの。

事前学修課題: 春の草花あそびを調べる。【0.5 時間】

事後学修課題: 春の草花あそびを試してみる。【0.5 時間】

6. 押し花作り しおりと押し花絵から植物標本の制作まで。プリザーブドフラワーに挑戦。

事前学修課題: 押し花にしたい植物を前もって採取しておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 新聞紙を取り換え、乾燥させて押し花を乾燥させる。【0.5 時間】

7. スケッチのすすめ 観察記録のとり方。なぜそうなっているのかを考える。

事前学修課題: スケッチしたい植物を前もって採取して持ってくる。【0.5 時間】

事後学修課題: スケッチを完成させ、説明を加える。【0.5 時間】

8. 花の形の成り立ち 花の形態と進化。よりよく生きるための進化の傾向。

事前学修課題: さまざまな形の花を調べておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 花の形を並び替え、進化の跡をたどってみる。【0.5 時間】

9. 昆虫の形態と生活史	チョウチョとトンボ、カブトムシ。体のどこが違うの？
事前学修課題:	今までに見たことのある昆虫の形と食べ物を調べておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	昆虫の形と生活様式の関係を考える。【0.5 時間】
10. 文章の書き方	文章作成の手順ときまり。人に自分の考えを伝えるために。
事前学修課題:	1 週間以内にあった印象的な出来事を文章にしておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	提示された文章の誤りを見つけ、添削する。【0.5 時間】
11. 夏の自然観察	水草の観察。アクアリウムのすすめ。
事前学修課題:	夏の代表的な水草を調べておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	アクアリウムの作り方を、まとめる。【0.5 時間】
12. 七夕と植物	梶鞠と笹飾り、伝承笹飾り。折り紙に願いを込めて。
事前学修課題:	七夕について知っていることをまとめておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	伝承折り紙を折ってみる。【0.5 時間】
13. 期末レポートの作成	このゼミで学んだことを用いた保育活動のプログラムの作成。
事前学修課題:	このゼミで学んだことでできる保育を考える。【0.5 時間】
事後学修課題:	レポートの初稿を完成させ、添削を受ける。【0.5 時間】
14. 夏の草花遊び	たたき染め、ススキのバツタ(草あみ細工)
事前学修課題:	たたき染めのデザインを考え、必要な植物(葉や花)を集めておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	たたき染めのやり方をまとめる。【0.5 時間】
15. まとめ	『魅力ある保育ナチュラリストを目指して』
事前学修課題:	添削に従ってレポートを完成させる。【0.5 時間】
事後学修課題:	自分の文章の特徴を知り、改善を図る。【0.5 時間】
【学習のあり方】	
授業内容について、オリジナリティのある保育への活用・応用を考えること。	
成績評価	
提出物(20%)、レポート(60%)、受講態度(20%)等により評価する。	
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】	
レポートに関して、添削指導を行う。	
【テキスト】	
テキストは使用しない。必要に応じて、プリントを配布する。	
【参考文献】	
日本自然保護協会編 『自然観察ハンドブック』 平凡社	
岩槻邦男編 片山雅男・清水義和他著 『グリーンセイバー』 研成社	
【実務経験の有無】	